

IODP 部会執行部 Action Item

2003 年 8 月 15 日

コンソーシアム事務局

Action Item	作業内容	備考
本日の集中審議事項 (資料 A)	1. 予算・スケジュール (将来構想)・・・木村・徐・伊藤 10/6 シンポジウム・ISC 構想・COE 研究生問題を含む 2. 科学目標・科学目的のシンポ・・・巽 3. ICDP との関係・・・伊藤 4. 情報発信・広報・・・井龍・加藤 5. 地質学会夜間小集会对応・・・徐・伊藤・井龍 6. SPC/SPPOC/PUNCH 事前打合せ・・・徳山	資料 B 資料 C
各種委員選任	☆SPPOC・SPC・OPCOM 委員の決定 (済み) ☆10 月以降のパネル委員選定について (専門部会で対応) →パネル委員の引継ぎ方法も含む ☆専門部会委員の人選確認 (残り 4 部会について) →事前調査検討・科学計測・汚染防止安全専門部会は直ちに承認手続き後、委嘱。 →技術開発推進専門部会は委員候補決定後直ちに作業 ☆委員候補者・所属機関への連絡徹底、依頼状送付について	資料 1 資料 2 資料 3
国際対応	☆John Farrell 氏 (JOI) との会談について ☆IODP Information Service Center 構想について ☆AGU にあわせた国際シンポジウムの開催について ほか	資料 4 資料 5 (説明: 斎藤)
国内対応	☆各種予算要求への対応 (→本日の集中審議)	
専門部会	☆第 1 回科学計測部会開催 (8 月 20～21 日・高知)	
普及広報活動	☆研究ファシリティに関するワークショップについて (高知?) ☆コンソーシアムホームページについて→作業中	
コンソ予算	☆会費納入状況→残り 8 機関 (要督促?) ☆賛助会員について ((社) 海洋調査協会、川崎地質)	
その他	☆陸上掘削部会設立対応 (継続) ☆プロポーザルの進捗状況 (専門部会担当者) ☆各種メーリングリストの立ち上げについて (済み) ☆会員提案型活動経費の後期分の募集について (要検討)	参考資料 1
前回まで検討済み (備忘録)	☆会員機関代表への報告について (専門部会委員決定次第) ☆国際パネル委員の公募について (来年度以降?) ☆国際パネルの事後報告について (実施方法を検討) ☆新任委員へのレクチャーについて (10 月の委員交代時期に対応) ☆J-DESC と UK (ECORD?)との協力関係について (担当:加藤・井龍) ☆専門部会のオブザーバー参加 (原則認める (旅費なし) ことを周知する) ☆執行部の強化について (継続検討)	前回のメモ →参考資料 2

◎次回開催日 : 9 月 ____ 日 ____ 曜日 10 時 00 分～ (開催場所 : JAMSTEC 東京連絡所)

(定例では 19 日だが、IODP 関連札幌会議と重なるため、要調整。)

2003.8.15 IODP 部会事務局

日時：平成15年8月15日 10時～17時

出席：執行部（徳山・伊藤・木村・巽・徐・加藤・井龍）・事務局（田中・西川・田口）・
オブザーバー（斎藤（JAMSTEC））

【各種委員選任】

☆SPPOC 委員・SPC 委員確定。

- ・ 委員名簿はホームページで公開する。（担当：事務局）

☆専門部会

- ・ 事前調査検討・科学計測・汚染防止安全の3専門部会について、幹事会了承済み。直ちにホームページに名簿を公開する。
- ・ 技術開発推進専門部会は、至急人選する。（担当：伊藤）
- ・ 科学計測専門部会・技術開発推進専門部会の下に、孔内検討に関するワーキンググループの設置要請あり。設置の方向で検討進める。（担当：伊藤（・斎藤））

☆各種委員会の就任要請について

- ・ コンソーシアムとして正式に委員就任を依頼するため、および本人への再確認の意味を込めて、IODP 部会長名で本人および所属会員機関代表宛に、依頼状を送付する。文面了解。事務局より発信する。（担当：事務局）

【国際対応】

☆USSAC との会談

- ・ USSAC 側から提案のあった、USSAC の John Farrel 氏と J-DESC キーメンバー（徳山 IODP 部会長ほか）との会談を、9月16日午後4時から、北海道大学で行う。先方には徳山部会長より連絡。（担当：徳山、会場確保は事務局）

☆IMI の現状報告

- ・ AESTO 田中より現状の報告。8月25日シアトル Officers 会議、9月9～10日シアトル BoG、SearchCOM 会議。本件の対応について、8月14日に関係者協議、9月3日に CMO 運営検討委員会(AESTO の委員会)開催。

☆IODP Information Service Center (ISC)構想について (斎藤オブザーバーより説明)

- ・ 我が国に ISC を誘致すべく、仕様、入札戦略などで、J-DESC としても可能な対応を行う。
(誘致希望機関の支援など)

☆AGU 対応について

- ・ 「Downhole Measurements and Monitoring in Seismogenic Fault Zone Drilling Projects」(米国カリフォルニア州にて12月5～6日開催予定)を、J-DESC が後援することとなった。経費の支援というよりは、むしろ、関係者の出席で支援・対応するという意味合いが強い。(担当：伊藤(・斎藤))
- ・ AGU では、JAMSTEC を中心に、日本の IODP 推進体制についてブース展示予定。J-DESC としても協力してゆく(経費等については、今後検討)。

☆SciMP および PPSP 会議の開催について(報告)

- ・ 12月15日～18日に長崎で開催予定。ホストは SciMP 斎藤 (JAMSTEC)、PPSP 森田 (早稲田大)、AESTO が支援。

【専門部会】

☆科学計測専門部会

- ・ 8月20～21日に高知大学海洋コア総合研究センターにて開催。執行部から伊藤が出席。

【予算】

☆賛助会員

- ・ 1団体から申し出あり、対応中。今後も賛助会員入会の働きかけを進める。

【本日の集中審議事項】

☆予算・スケジュール・将来構想

- ・ 10月6日に IODP 発足記念国際シンポジウムを J-DESC、JAMSTEC、IMI 共催で開催。今後 JAMSTEC 担当者等と協議し、準備を進める (徐・巽)。
- ・ 10月25日に神戸大学で、IODP 発足記念の科学シンポジウムを J-DESC 主催で開催する。(担当：巽)
- ・ 本年度末頃には、MEXT 主催のシンポジウム開催の可能性あり。今後対応。
- ・ 各大学・研究機関等の予算要求、中期計画立案等に当たり、コンソーシアムから会長名で地球掘削科学関連分野への協力を要請。(担当：木村)(8月22日に発信済み)

☆陸上掘削関連

- ・ 9月地質学会夜間小集会の後、陸上掘削部会設立趣意書提出予定。その後、諸手続き等を

経て、来年4月の陸上掘削部会設立を目指す。

- ・ 陸上掘削部会設立後のコンソーシアムの体制、意思決定プロセスについて要検討。

☆情報発信・広報

- ・ ホームページ更新作業中。今月中には新規ページにリニューアル。
- ・ コンソーシアムパンフレット完成。配布中。
- ・ 高校生向け普及パンフレットを作成する。具体的な作業は東北大を中心に行う。(担当：井龍)
- ・ J-DESC メールニュースの発行・・・6月に発信したニュースのような形式で、できるだけ定期的な情報発信に努める。(事務局で検討)

☆地質学会夜間小集会

- ・ ファシリティーに関する集会（9月19日）に先立ち、関係者で実務協議（8月19日）。(担当：徐)
- ・ 陸上掘削部会との連携については、陸上掘削部会関係者と連携して準備。後援者ほぼ決定(正式に依頼する)。(担当：井龍)

☆PANCH/SPC 事前打合せ

- ・ 9月中旬に北海道大で開催される IODP 関連会議に先立ち、PANCH (暫定パネル議長会議) および SPC (科学計画委員会) の事前打合せを行う。

9月7日(日) 13時～ PANCH/SPC 合同 @東大理学部

9月12日(金) 17時～ PANCH @北海道大学総合博物館

9月13日(土) 17時～ SPC @北海道大学総合博物館

次回は、9月7日(日) 10時～ 東京大学理学部で行う。